

都市構造可視化計画による オープンデータ化検討 ～都市計画基礎調査データ～

大阪府 堺市
都市計画課



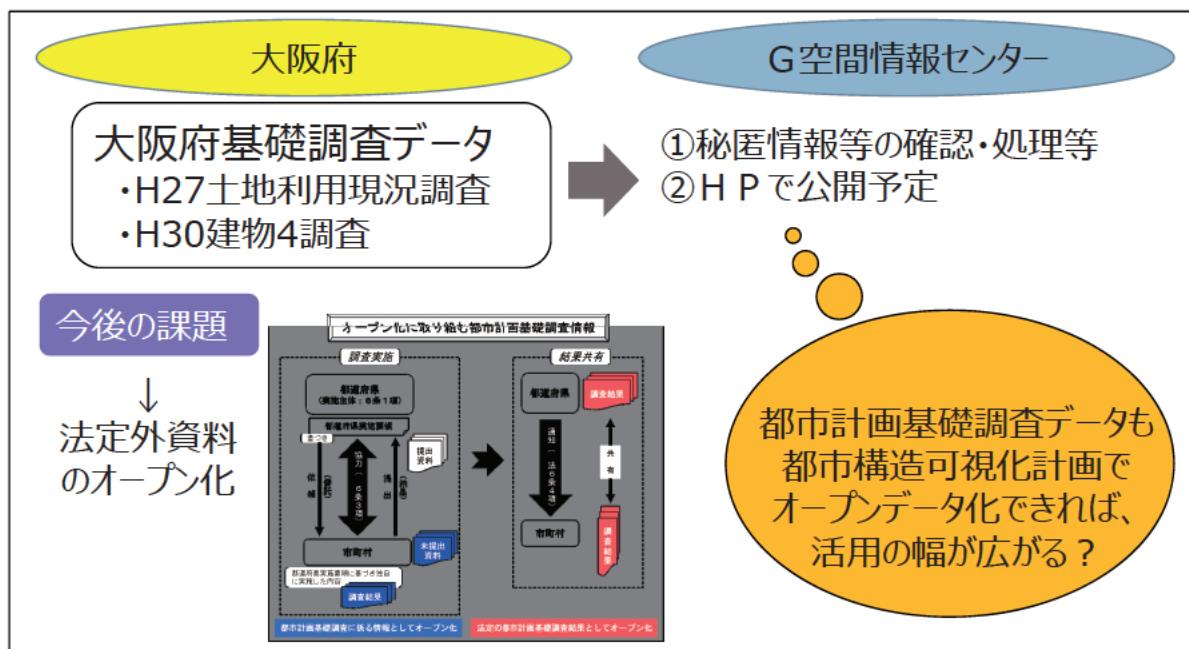
1. オープンデータ化の動向

国において、官公庁所有の資料をオープンデータ化していく方向性となり、各種法整備や基本計画策定等が行われた。

時 期	決定事項等	概 要
H27. 2	「オープンデータをはじめよう～地方公共団体のための最初の手引書～」 (地方公共団体オープンデータ推進ガイドライン補足資料)	都市計画基礎調査はオープンデータとして公開可能なものと位置づけ
H28. 12	「官民データ活用推進基本法」 公布・施行	オープンデータの推進を国や地方公共団体に対し、義務づけ
H28. 12	「規制改革ホットライン」で受け付けた提案への検討要請	提案事項：都市計画基礎調査の民間利用促進
H29. 3	「地理空間情報活用推進基本計画」閣議決定	G空間情報センターを中心とした地理空間情報の流通及び利活用の推進
H29. 5	「世界最先端IT国家創造宣言・官民データ活用推進基本計画」閣議決定	分野横断的な施策のうち重点的に講すべき施策：都市計画に関するデータの利用環境の充実
H29. 6	「規制改革実施計画」閣議決定	都市計画基礎調査の民間利用促進
H29. 6 H30. 6	「経済財政運営と改革の基本方針2017（2018）」（骨太方針）閣議決定 「まち・ひと・しごと創生基本方針2017（2018）」閣議決定	コンパクト・プラス・ネットワークの推進として、都市計画情報の活用・オープン化
H31. 3	「都市計画基礎調査実施要領」改訂 「都市計画基礎調査情報の利用・提供ガイドライン」、技術資料 策定 「都市計画基礎調査情報の利活用を始めよう」策定	ガイドライン等によるオープン化の推進。 オープン化されるデータの利活用の推進。

2. 都市計画基礎調査のオープンデータ化（大阪府）

大阪府では令和元年度、G空間情報センター上で、H27土地利用現況調査、H30建物4調査のデータ（SHP）を公開予定。

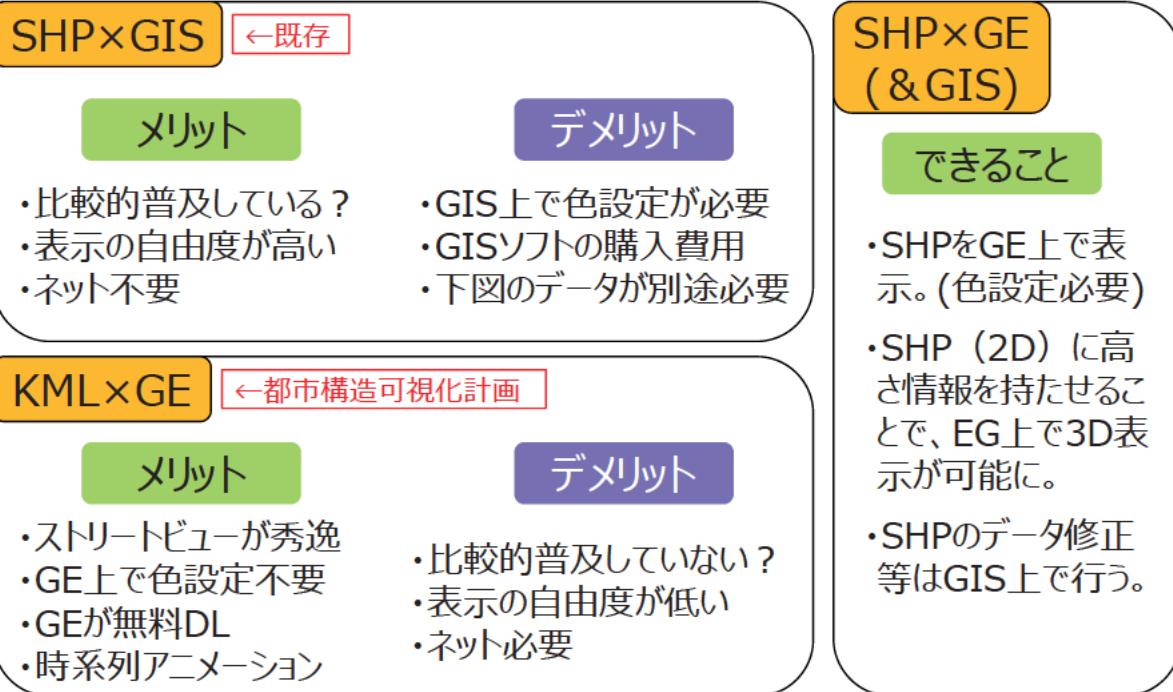


i-都市交流会議2020

3

3. SHPとKMLの比較

オープンデータ化におけるSHP×GISとKML×GoogleEarthの比較



i-都市交流会議2020

4

4. 都市計画基礎調査データの可視化

都市計画基礎調査データ（SHP）をKMLに変換し、同じデータをGIS、GoogleEarthで比較。（下図は土地利用現況調査）

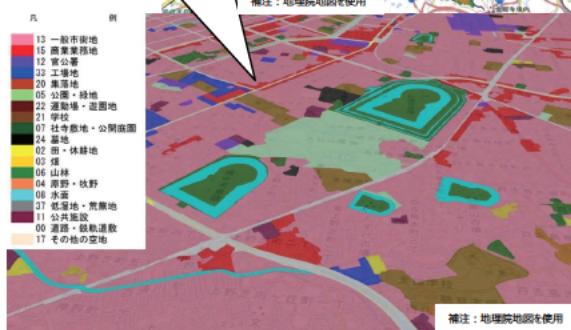
SHP×GIS

- ・2D
- ・3D表示の方が見やすいものもある
(ex.建物高さ・階数調査)



KML×GE

- ストリートビューなどの詳細表示
↓
- SHPと同じ秘匿処理？



i-都市交流会議2020

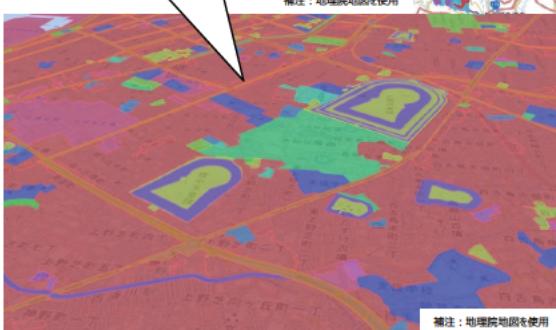
5

5. 都市計画基礎調査データの可視化②

都市計画基礎調査データ（SHP）をそのままインポートし、GoogleEarthで表示。

SHP×GE

- 色の設定が難しい
- 地理院地図の表示
(高さ処理で表示)
- データ数が多く、
処理重い



所感

- 航空写真、ストリートビューの切替えやすさにより、すぐ現地が把握できる
- 都市構造可視化計画のKMLデータと併用可能
- 3D表示の方が見やすいものもある
(ex.建物高さ・階数調査)
- データ変換費用とニーズの費用対効果が課題
- 秘匿情報処理等はSHPと同じ作業でいいのか要検討

i-都市交流会議2020

6

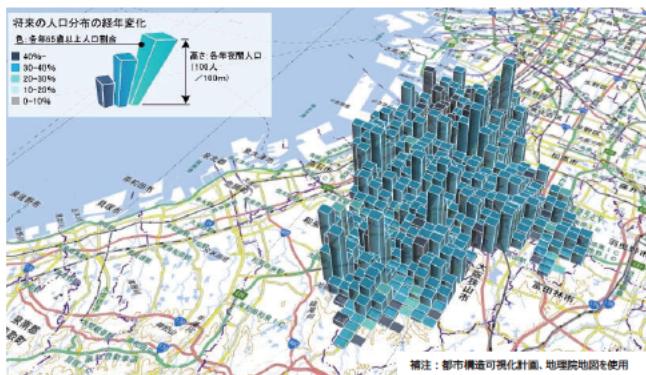
6.課内周知

可視化ツール紹介等の課内研修を実施。(12/24・26 計2回)



主な質問、意見等

- ・3D・アニメーション等により、市民向けの説明などで理解が得られやすそう。
- ・庁内誰でも使えるようになりますか？
- ・将来的に都市計画情報公開システムに使えないか？
- ・データ変換費用とニーズの費用対効果は？



i-都市交流会議2020

7

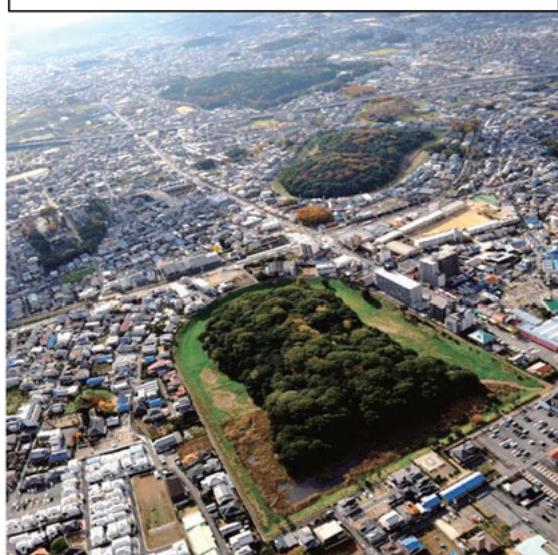
堺市（百舌鳥古墳群）

都市の紹介

百舌鳥古墳群



古市古墳群



i-都市交流会議2020

8